

機械器具74 医薬品注入器
一般医療機器 経腸栄養注入セット 70400000

ジェイフィード栄養ボトル

再使用禁止

(1200mL・ロックタイプ)

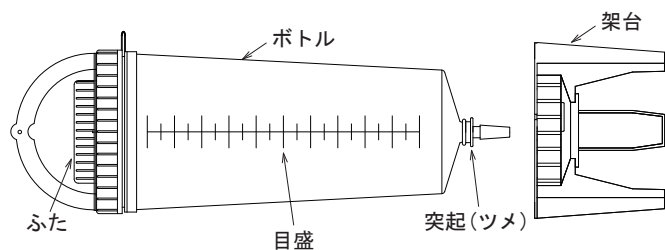
【禁忌・禁止】

- 再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

ボトル、ふた、架台からなる。

＜構成＞



【使用目的、効能又は効果】

胃又は腸に挿入したカテーテルと連結して栄養剤、医薬品等を投与する器具である。

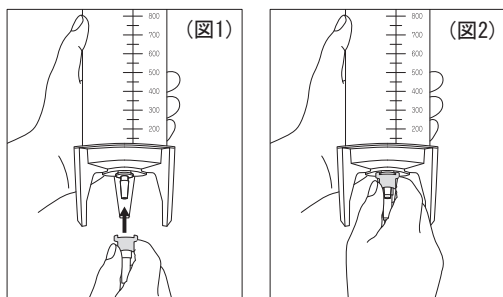
【品目仕様等】

引っ張り強さ

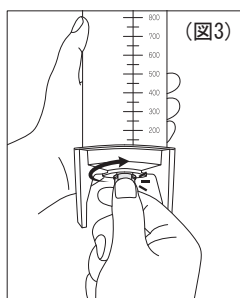
栄養投与セット等に接続し、15Nの力で引っ張ったとき、破断、外れ等が生じない。

【操作方法又は使用方法等】

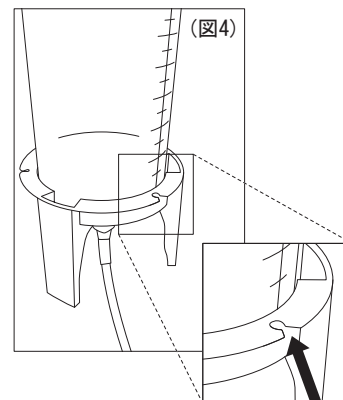
1. 包装から本品を取出します。
2. ボトルを架台に固定します。
3. 本品に接続する専用コネクタ(Qロック)のついた栄養投与セットのクランプを閉じます。
4. 本品を栄養投与セットに接続します。ボトルをしっかり持ち、専用コネクタ(Qロック)をまっすぐ投与口へ挿入します(図1)。専用コネクタ(Qロック)は突きあたるまで押し込みます(図2)。



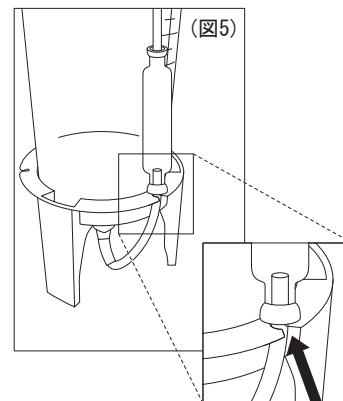
次に押し込んだ状態で右に回転させ、ボトル先端の突起(ツメ)と接続します。接続できた場合はカチッと感があります(図3)。



5. 栄養投与セットのチューブを架台のチューブホルダ(図4)に通し、架台に固定します(図5)。



チューブホルダ



栄養投与セット固定

6. あらかじめ調剤した栄養剤等を、汚染に注意して注入口からボトルに充填後、ふたをします。
7. 栄養投与セットのチューブを架台のチューブホルダから取外します。
8. 栄養投与セットの使用方法に従って使用します。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 栄養投与セットの専用コネクタ(Qロック)を接続する場合は、ロック部分が本品の投与口の突起(ツメ)に確実に接続(ロック)されていることを確認すること。[接続が不十分な場合、外れ、液漏れが生じる。]
- 接続部に栄養剤等が付着した状態で接続した場合は、接続部に緩みが生じるので注意すること。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意
 - 併用する栄養剤、医薬品等及び医療機器の添付文書を確認後、使用すること。
 - 本品は経腸栄養用であり、血管系ラインへの接続はしないこと。
 - 包装を開封したらただちに使用すること。
 - 包装が破損、汚損している場合や、製品に破損、変形等の異常が認められる場合は使用しないこと。

- 使用中は各接続部の緩み、液漏れ及び破損等に注意し、定期的に確認すること。
 - 栄養剤等の汚染防止に努めること。
 - 本品に栄養剤等を充填した状態で長時間の保管及び投与の中断はしないこと。
 - ボトル内に固形物を入れないこと。〔投与口が詰まる。必要な投与ができない。〕
 - ボトルの中で溶解、調剤する場合は十分に栄養剤等が溶解していることを確認すること。
 - ボトルを落下させたり、衝撃を加えたりしないこと。〔破損及び液漏れが生じる可能性がある。〕
 - 粘度が高い又は不溶解物がある成分栄養剤の投与では、詰まりによる流量の変化の可能性があるので、流量の管理には十分注意すること。
 - 界面活性剤が含まれた栄養剤を使用するとふた部分の通気フィルタが親水化され通気不良が発生することがあるので注意すること。
 - 容器の目盛は、目安として使用すること。
2. その他の注意
- 接続部には直接手を触れないこと。
 - 使用後は感染防止に配慮して安全な方法で処分すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵・保管方法

- 水ぬれに注意し、高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。

2. 使用期限

- 箱の使用期限欄を参照すること。〔自己認証(当社データ)により設定〕

【包装】

10個／箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売元及び製造元

株式会社ジェイ・エム・エス

広島市中区加古町12番17号

郵便番号：730-8652

電話番号：082-243-5806